

私の写生地

私と越前

会員 中村 末二

コロナ禍の今、日展作品と奨励展作品を並行して同時制作に奮闘している中、会誌係の方より突然投稿以来連絡を戴き、迂闊にも引受けてしまい後悔しながらも必死に頑張つて書いています。私の住む加賀市山中温泉から国道364号で峠を越えれば福井県丸岡町に出ます。九頭竜川に沿って上流に行くと、曹洞宗本山永平寺に通じています。この道沿いにある福井県大野勝山の山手に点在する土蔵を取材し、二十余年テーマとして飽きる事なく続けています。近年土蔵の必要性が無くなって来て老朽化による破損や降雪の重みで潰れ去る状態で、修復されずに残存する個体も激減しています。取材で覗いていると土地の人から不審者にみられたり、犬に吠えられたり大変な取材です。

そんな土地々々の名所や旧跡の建

造物や神社・観光施設を観て廻る中、白山信仰のスタート地白山平泉寺にて「日本の道やかおり風景100」に選ばれ、歴史を感じながら癒される場所です。また恐竜化石が多数発掘され、世界中から集められた

恐竜骨格が展示された恐竜博物館には家族連れが多い人気スポットです。城下を包み込む雲海に浮かぶ「天空の城」大野城。そんな大野と勝山に連なる六呂師高原には広範な放牧地に牛舎が点在し、冬にはスキー場として活用され、大展望の景観が素晴らしく何度も写生に訪れています。

国定公園である加賀越前海岸は日本海に面して、永年の冬の荒波と潮風の浸食による切立った断崖絶壁と奇岩が連なるなかなかの景勝地です。自宅から国道305号を西に向かうと吉崎御坊・塩屋港に繋がる北潟湖



▲ 「午後の風景」

があります。細長く続く潟の岸辺には小舟や定置網、舟小屋など絵になる材料が揃っていて、何時の日か作品にしてみたいと思っています。



▶ 「六呂師高原」

芦原温泉を過ぎると海岸線に出て東尋坊へと続きます。手前の「安島」という小さな漁村から見る東尋坊の景色は絵になります。東尋坊を過ぎて三国港から15分程で「鷹巣海岸」に出ます。背後の高台に耕作地が続きます。そこからの景色は素晴らし



▲ 「水仙ロードから」



▲ 「越前海岸」



▲ 東尋坊 (写真)

く、上皇陛下も立ち寄られて御覧になられたとの事です。更に越前海岸を走ると「呼鳥門・鳥糞岩」という断崖の奇岩が連なり、海岸線まで迫る山手が上がると福井県の県花で有名な越前水仙が山全体に群生していて、開花時期には見事な景観です。水仙ロードから望む越前岬も素晴らしく、近くの棚田百選の梨子ヶ平も素晴らしい景色です。何度訪れても新たな写生地を発見できて楽しみです。



▲ 「暖日」



▶ 「越前海岸」